教育方針	徳・知・体の調和のとれた人格の完成を目指し、民主的な国家及び国際社会の有為な形成者となるにふさわしい人間力を培い、豊かな人間性や自ら学び自ら考えるなど生きる力を備えた心身ともに健全な生徒の育成を期する。	重点目標	自信と誇りを育む農業教育の推進 — 生徒が輝き 地域が輝き 未来が輝くために — 1 生徒、保護者、地域が三位一体となって特色ある学校づくりを目指します。 2 授業改善を通して、学習習慣の定着と基礎学力の向上、学びの進化を図ります。 3 基本的な生活習慣の確立及び規範意識の向上を図り、自律する力を育成します。 4 キャリア教育の充実により、社会人基礎力を身に付けさせ、地域の担い手を育成します。 5 人権尊重の視点に立ち、お互いを認め合う心を育成します。 6 あらゆる教育活動を通じて、健やかな心と体を育成します。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
地保 域護 と者 の・ 連携	PTA活動の活性化	・PTA役員の理事会への参加率80%以上 A:80%以上 B:79~70% C:69~60% D:59~50% E:49%以下	B	・第1回理事会80%(25名中20名)、第2回理事会76%(25名中19名)、第3回理事会72%(25名中18名)の参加であった。	・事前調査では2~4名の欠席連絡があり80%以上の参加予定であるが、当日に病欠や仕事の都合で参加できない事例があった。早めの連絡と直前の確認を行い、参加率を高める。
	保護者・地域への情報発信の充実	・ホームページの閲覧者数1日平均450名以上 A:450名以上 B:449~350名 C:349~250名 D:249~150名 E:149名以下	A	・年間を通じて各学科の積極的な掲載により、多くの閲覧数があり、目標の達成が見られる。	・どの学科も積極的に掲載しているが、掲載頻度に差が見られるので、バランスの取れた掲載をお願いしたい。学科以外の学校行事や生徒の活躍を紹介する掲載を増やす。
学習 指導	家庭学習の充実	・1日平均家庭学習時間 調査発表中120分以上 A:120分以上 B:119~96分 C:95~72分 D:71~60分 E:59分以下 ・1日平均家庭学習時間 調査中150分以上 A:150分以上 B:149~120分 C:119~90分 D:89~75分 E:74分以下	C	・調査発表中は90.4分(昨年103.9分) ・調査中は111.8分(昨年は120.5分)	・定期考査の在り方について見直すとともに、課題提供や考査の出題方法等を工夫するなど、計画的に学習に取り組む姿勢の育成に努める。
	満足感・達成感を味わえる授業の展開	・1か年皆勤者数60%以上 A:60%以上 B:59~50% C:49~40% D:39~30% E:29%以下 ・タブレットなどICT機器を活用したアクティブ・ラーニング100% A:100% B:99~80% C:79~60% D:59~50% E:49%以下	C	・1か年皆勤者数118名(22.0%) ・タブレットなどICT機器を活用したアクティブ・ラーニング93%(学校評価:教科の精選・創意工夫、分かる授業の推進4.0ポイント中3.2ポイントで評価)	・今後もICT機器の活用等を工夫し、分かる授業の実践を中心に据え他の課との連携を図り、充実した学校生活を送ることができるよう支援をする。
	成績優秀者の増加	・成績優秀者100人以上 A:100人以上 B:99~80人 C:79~60人 D:59~50人 E:49人以下	A	・成績優秀者169人(昨年は120人)	・評価方法等について適宜検討するとともに、分かる授業の実践を続け、学力の向上を目指す。
生徒 指導	規範意識の向上と個に応じた指導の充実	・特別指導生徒0名 A:0人 B:1~3人 C:4~6人 D:7~10人 E:11人以上	E	・規範意識を持たせる指導を実施したが、12名の特別指導生徒が出た。	・規範意識を高く持たせる指導をするとともに、自他を思いやり大切にする心や我慢する心の育成を図る。
	交通安全指導の充実	・交通事故・違反0件 A:0件 B:1~3件 C:4~6件 D:7~10件 E:11件以上	E	・命を守る教育やマナーやルールについて指導したが15件の交通事故が発生した。	・交通マナーやルールについて指導を行い、命を守る行動ができる生徒の育成に努める。
進路 指導	自己実現の達成	・第一希望校への入学100% A:100% B:99~80% C:79~60% D:59~50% E:49%以下 ・第一希望職種への就職100% A:100% B:99~80% C:79~60% D:59~50% E:49%以下	B	・第一希望校への入学 95.8% ・第一希望職種への就職 98.3%	・社会人基礎力及び基礎学力の養成 ・インターンシップ及び卒業後の就業調査の活用 ・個に応じた指導と支援の計画
	生き方へのこだわり	・農業関連分野への進学者55%以上 A:55%以上 B:54~45% C:44~35% D:34~30% E:29%以下 ・農業関連産業への就職率55%以上 A:55%以上 B:54~45% C:44~35% D:34~30% E:29%以下	A	・農業関連分野への進学 63.4% ・農業関連産業への就職率 59.2% ・*各学科設定の専門科目などに関連するものを含む。	・進路ガイダンスの工夫(1年進路探究との連携) ・進路情報の提供と共有 ・クラス担任の保護者対応へのサポート
特別 活	部活動の活性化による体力・気力の充実及び地域に貢献できる人物の育成	・県総体出場部数8部以上 A:8部以上 B:7部 C:6部 D:5部 E:4部以下	A	・県総体出場は、9部(男女で15部)であった。予選なしの出場部も多い。	・出場部数だけでなく、出場人数の比較を入れてもよい。参加人数は139人と昨年一昨年と増加した。 ・文化部に関しての具体的な目標を設定する。

読書指導	図書館利用の活性化	・生徒の年間読書冊数平均10冊以上 A:10.0冊以上 B:9.9~9.5冊 C:9.4~8.0冊 D:7.9~7.5冊 E:7.4冊以下	A	・年間読書冊数については、16.2冊(2/27現在)で目標を達成できた。 ・「図書館報」、「ライブラリー・ニュース」については、計画通り発行し、目標を達成できた。	・図書委員を中心に朝読書やビブリオバトルを活性化させ、より読書に対する意識付けを啓発したい。また、「図書館報」や「ライブラリー・ニュース」の発行を通じて、生徒が利用しやすい図書館の運営を心がける。
情報教育	情報モラルの充実と情報モラル教育の徹底及びセキュリティの保守管理	・情報の機密性、完全性、可用性維持100% A:100% B:99~80% C:79~60% D:59~50% E:49%以下	A	・情報の機密性、完全性、可用性維持100%	・情報セキュリティに関する研修を充実させ、校務系サーバーの利用促進を行い、個々のセキュリティ意識の向上をより一層図る。
	ホームページの適宜更新・管理	・ホームページの管理・更新週平均5回以上 A:5回以上 B:4回 C:3回 D:2回 E:1回以下	A	・ホームページの管理・更新を週5回以上実施した。	・各科、各課、生徒会、農業クラブ、家庭クラブ、部活動等連携を図り、校外への適切な情報発信を充実させる。
厚生管理	快適で心豊かな学校生活	・衛生委員会の開催年間12回以上 A:12回以上 B:11~10回 C:9~8回 D:7~6回 E:5回以下	B	・月に1回以上の開催を目指したが、構成員の都合等で開催できないことがあった。	・運営委員会と同時開催で極力、月1回実施し衛生環境の改善に努める。
	安心・安全な生活に対する意識の向上	・避難訓練の実施年3回以上 A:3回以上 C:2回 E:1回以下 ・管理責任者による定期安全点検の実施年2回以上 A:2回以上 C:1回 E:0回	A	・いずれも目標通り実施できた。防災教育指定研究の成果が表れている。	・災害に対する意識をさらに高めていけるように全校での予告無しの訓練など実施形態を工夫する。
人権・同和教育	互いの人権を尊重し、協力しながら活動できる集団の育成	・集団の一員として協力し合って活動できる生徒100% A:100% B:99~80% C:79~60% D:59~50% E:49%以下	B	・集団の一員として協力し合って活動できる生徒95%	・学校生活のすべての場が人権教育の機会であることを認識し、生徒が存在を認め合い、尊重し合う学習集団を育成する。
	人権問題に対して自ら行動できる実践力の育成	・差別を許さない、いじめを制止できる生徒100% A:100% B:99~80% C:79~60% D:59~50% E:49%以下	B	・差別を許さない、いじめを制止できる生徒81%	・いじめを制止する意識を高めるとともに、生徒自らが行動する場面を増やすことで実践力を育成する。 また、全教職員が生徒の学校生活全般をしっかり見守り、時を逃さず適切な指導を行う。
教育相談	登校支援の充実	・中学校との引継ぎ及び現担任との情報交換100%対応 A:100% B:99~80% C:79~60% D:59~50% E:49%以下	A	・各中学校に対して入学生徒についての聞き取りを行うとともに、学級担任と折に触れ情報交換を行い、必要に応じてスクールライフアドバイザーへの相談に繋がった。(情報交換4件、カウンセリング希望56件)	・適応障害や特性のある生徒の二次障害的な原因での不登校など、不登校生徒の増加とともにその理由も多岐に渡るため、より細やかな実態把握と個に応じた対応を心掛ける。
	特別支援教育における合理的配慮の充実	・生徒の実態把握と支援100% A:100% B:99~80% C:79~60% D:59~50% E:49%以下	A	・必要に応じて学級担任、教科担任と情報交換を行い、情報共有や支援の手立ての明確化を行ったり、授業時において支援員を配置するなどの措置を取ったりした。	・学級担任による生徒の実態把握を中心に、家庭、中学校、関係機関(各市の教育支援センター、医療機関など)との相談・連絡・連携の強化を図り、担任・学年主任・教育相談課とのチームで対応する組織作りと実践を、継続して行う。
農業教育	農業クラブ及び資格取得の充実	・農業クラブ各種発表県大会・各種競技会出場者全員入賞 A:100% B:99~80% C:79~60% D:59~50% E:49%以下	E	・出場者に対する入賞者の割合は43.3%だった。生活科学科食物班がプロジェクト発表で3年連続全国大会に出場するなど成果も上がっている。	各種大会の中でも入賞率の低い家畜審査競技(0/4)、農業鑑定競技(2/7)について、各学科で学習方法を研究する。また、達成可能な目標値を設定する。
	教職員の自己研修及び専門技術の向上	・相互授業参観・校内外研究授業・研究協議会等への参加年3回以上の教職員100% A:100% B:99~80% C:79~60% D:59~40% E:39%以下	C	・3回以上の参加が67%、2回の参加が14%、1回の参加が5%だった。	・1度も研究授業や研究協議会に参加していない教職員が1割程度いるため、積極的な参加を促せるように業務調整や声掛けを行う。
	農業教育環境の整備	・農場及び特別教室の整備及び点検年3回以上 A:3回以上 C:2回 E:1回以下	A	・90%以上の農務課員が3回以上の環境整備を実施しており、目標は十分達成できた。	・100%に近づくよう周知徹底を図る。
	本校の活動や農産物の魅力発信	・各学科、1か月2件以上紹介記事を載せる。(学科合計) A:12回以上 B:11回~10回 C:9回~8回 D:7回~6回 E:5回以下	A	・各学科、月に2回以上、学科合計で12回以上のブログ更新を達成できた。中学生への配布物にQRコードを載せた結果、ホームページへのアクセス数も増加した。	・今後も配布物にQRコードを載せるなど、ブログ更新と合わせて情報発信に力を入れていきたい。
魅力化	魅力ある学校づくり	・志願者倍率1.00倍以上 A:1.00倍以上 B:0.99~0.80倍 C:0.79~0.60倍 D:0.59~0.50倍 E:0.49倍以下	B	・志願倍率は0.91倍であった。生物工学科では1.18倍と県内でも高倍率であった。	・今後も情報発信に力を入れるとともに、在校生への充実した学びや実習を提供できるよう努めたい。
業務改善	適切な業務時間	・教職員の勤務時間を守り、休憩時間を確保する。 ・業務の効率化を図り、時間の有効活用を図る。	A	・運営委員会、職員朝礼の削減を行い、働き方改革を行った。	・更に、学校行事の見直し、会議の効率化を進める。
	職場環境の整備	・健康講座や健康相談を定期的に実施し、教職員の疲労や心理的負担の軽減を図る。	C	・管理職面接を行い、教職員の健康状態、メンタル状態を把握することに努力したが、ストレスチェック度合いが県の平均より少し高く、ストレス、疲労感等の軽減に繋げることができなかった。	・管理職面接や出勤記録表等を利用して、教職員個々へのサポート体制を更に充実させる。